

=====

ESET NOD32 アンチウイルス V5.2 リリースノート

キヤノンITソリューションズ株式会社

=====

はじめに

キヤノンITソリューションズ製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

このリリース ノートには、ESET NOD32 アンチウイルスを正しく利用頂くための情報が記載されています。本製品をインストールする前に必ずお読みください。

インストール前の注意事項

ESET NOD32 アンチウイルス(以後、本製品と記載)をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・本製品をインストールするコンピューターに、次のプログラムがインストールされていることを確認してください。

- Microsoft Internet Explorer 6.0(Service Pack 1)以降

可能な限りセキュリティ修正が行われた最新のプログラムをご使用ください。

使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容をご確認ください。

ESET SysRescue (レスキューCD) 作成の注意事項

ESET SysRescue (レスキューCD) を作成するには、Windows 自動インストールキット(Windows AIK) バージョン 6001 以降が必要です。

ご使用のコンピューターに Windows AIK がインストールされていない場合は、マイクロソフト株式会社ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

ダウンロード先 URL(マイクロソフト株式会社) :

- ・ Windows Vista SP1 および Windows Server 2008 用
<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=9085>
- ・ Windows 7 用
<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5753>

Windows XP 環境で直接 CD-R に ESET SysRescue (レスキューCD) を作成する場合の注意事項

Windows XP 環境で、本製品から直接 CD-R に ESET SysRescue (レスキューCD) を作成するには、Windows 自動インストールキット(Windows AIK) の他に、Windows XP 用 Image Mastering API v2.0 (IMAPI2.0) が必要です。ご使用のコンピューターに IMAPI2.0 がインストールされていない場合は、マイクロソフト株式会社ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。

ダウンロード先 URL(マイクロソフト株式会社) :

<http://support.microsoft.com/?kbid=932716>

インストールランチャーからインストールした場合の初期設定について

本製品をインストールランチャーからインストールした場合は、サーバー向けに、各種初期設定が適用されます。

サーバー向けの初期設定では、電子メールクライアント保護、および、Web アクセス保護など、一部の保護機能が無効になっています。

また、一部の拡張子、および、ファイルに関して、検査対象から除外されています。システムドライブが「C:」以外の場合は、除外対象となるファイルパスの設定を変更する必要があります (詳細設定画面-[コンピュータ]-[ウイルススピアウェア対策]-[除外])。

既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

詳しくは、弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<http://canon-its.jp/supp/eset/index.html>

ネットワーク共有上からプログラム等を直接実行することができない場合の対処について

サーバー側とクライアント側の両方に、本製品などのウイルス対策製品が導入されている場合に、共有された実行ファイルを利用する際、サーバー側とクライアント側の両方の保護機能によって重複監視されるため、ファイルを実行できない場合があります。こちらの場合は、クライアント側にインストールされた本製品のリアルタイムファイルシステム保護設定で、ネットワークドライブの検査（[検査するメディア]-[ネットワークドライブ]）を無効にしてください。

本製品でインストールされるデバイスドライバによって Windows ログ認証に関する警告が表示されインストールに失敗する現象について

Windows XP 環境で、本製品をインストールする際、Windows ログ認証に関する警告画面が表示され、インストールに失敗する場合があります。

この場合は、下記操作後、本製品のインストールを行います。

1. 「スタート」 「コントロールパネル」 「プログラムの追加と削除」にて「プログラムの追加と削除」を開きます。
2. 画面左側の「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックします。
3. リスト内の「ルート証明書の更新」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。
4. インストールが完了しましたら「完了」ボタンをクリックします。
5. 「プログラムの追加と削除」を閉じます。
6. 「スタート」 「コントロールパネル」 「システム」にて「システムの

- プロパティ」を開きます。
7. 「ハードウェア」タブをクリックし、「ドライバの署名」ボタンをクリックします。
 8. 「ドライバ署名オプション」画面にて、「どのように処理しますか？」項目で「無視」にチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。
 9. 「システムのプロパティ」を閉じます。

インストールが成功しましたら、ドライバ署名オプションを元に戻します。

[既定]ボタンを利用した場合の[除外]設定の動作について

本製品の詳細設定画面で[既定]ボタンをクリックした場合、[コンピュータ]-[ウイルス・スパイウェア対策]-[除外]設定は、既定状態（登録項目が無い状態）に戻りません。

[除外]設定を既定状態に戻したい場合は、[除外]設定の一覧にて、全項目を選択し、[削除]ボタンをクリックして、削除を行ってください。

[リムーバブルメディアのブロック]設定にて、USBメモリへのアクセス拒否を設定した場合に、USBメモリを接続するとフォーマットを求められる現象について

[リムーバブルメディアのブロック]設定（詳細設定画面-[コンピュータ]-[リムーバブルメディア]）にて[リムーバブルメディアのブロックルール]を有効にし、ルールとして以下の設定を行っている場合に、USBメモリをコンピューターに接続すると、「ドライブ G: を使うにはフォーマットする必要があります。フォーマットしますか？」（「G:」の部分はUSBメモリのドライブ文字）というメッセージが表示されます。

【ルール】

- ・ デバイスのタイプ : USB
- ・ 権限 : アクセスを拒否

この現象は、Windows 7 で確認しており、Windows 2000、Windows XP、および、Windows Vista では確認されていません。

メッセージが表示された場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

[診断]機能によるダンプファイルが作成されない現象について

[診断]機能（詳細設定画面-[ツール]-[診断]）にて、[ミニダンプ]、または、[完全なメモリダンプ]を設定した場合にも、[診断]機能によるクラッシュダンプが作成されない場合があります。

本現象が発生する環境では、診断機能はご利用いただけません。

製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<http://canon-its.jp/product/eset/index.html>